



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月2日
上場取引所 東

上場会社名 日本ファイルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名)取締役企画財務部長

(氏名)渡邊 岳敏

(氏名)齋藤 芳治

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成25年7月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日~平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	11,294	3.1	445	—	760	—	521	—
24年11月期第2四半期	10,956	△5.9	△128	—	△80	—	△518	—

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 2,054百万円(—%) 24年11月期第2四半期 △91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	23.57	—
24年11月期第2四半期	△23.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	31,114	13,026	41.2
24年11月期	29,112	11,038	37.3

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 12,807百万円 24年11月期 10,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日~平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	6.5	650	—	950	—	550	—	24.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	22,167,211	24年11月期	22,167,211
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	34,967	24年11月期	34,967
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	22,132,244	24年11月期2Q	22,132,467

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の政権交代以降、日本銀行による大幅な金融緩和策と新政権による経済政策への期待から円安と株高が進行する等、景気回復の兆しが見られたものの、個人消費や設備投資といった実体経済の回復は遅れており、欧州を中心とした世界経済の低迷もあり、先行不透明な状況が継続いたしました。

また、当社グループの主要取引先である国内紙・パルプ業界や半導体を含む電子部品業界は、国内需要の低迷により厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内およびアジア地域を中心とした拡販活動と全社的なコスト低減活動に注力し、生産体制の再編を中心とした事業構造の見直しと新製品開発の継続により収益基盤の強化に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は11,294百万円と前年同期に比べ3.1%増加いたしました。これは主に為替相場の変動による輸出および海外子会社の売上高増加と、環境・水処理製品の売上高増加によるものであります。営業利益は売上高の増加と前期末に実施した希望退職による人件費の減少およびコスト低減活動により、売上原価率が3.0ポイント低下し、販売費及び一般管理費が127百万円減少したことにより、445百万円（前年同期営業損失128百万円）となりました。経常利益は為替差益が前年同期に比べて254百万円増加したこと等により760百万円（前年同期経常損失80百万円）、四半期純利益は521百万円（前年同期四半期純損失518百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

製紙製品分野では、主要顧客である国内紙・パルプ業界は、円安により輸入紙が減少したものの、国内需要は低迷し引き続き厳しい状況で推移いたしました。このなかで当社グループでは、高付加価値製品を中心として積極的な拡販活動を展開いたしました。需要の低迷による影響は大きく当分野の販売数量は国内を中心に減少いたしました。一方、輸出につきましては為替相場の変動により売上高が増加となり、販売費及び一般管理費の減少効果もあり、当分野の収益は結果として増加いたしました。なお、当分野では厳しい状況に対応するため、引き続きタイ王国子会社FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTDを含めた生産体制の再編と新製品開発の強化を継続いたしております。

その他の産業分野では、前年度に引き続き海外向け材料販売、石油採油用スクリーンメッシュ、化学メーカー向けニッケル製網が好調に推移し、オーストラリアにおける防蟻施工用ステンレス製網販売等につきましては、住宅マーケットが徐々に回復しつつあり、当分野は総じて堅調に推移いたしました。

その結果、当分野の外部顧客への売上高は8,005百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は771百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

②電子部材・マスク事業

エッチング加工製品分野では、得意分野とする大判タッチパネル用製品の量産受注に向けて試作を継続するとともに、医療機器向け製品等、当社の加工特性を活かした高付加価値製品の開発・受注に注力いたしました。結果、前年同期に比べて売上高は減少いたしました。前期末の人員減少をとまなう生産体制の再編により収益性が改善いたしました。

マスク製品分野では、パワー半導体向けや、MEMS 関連等の非半導体分野といった当社の得意分野を含め拡販活動に注力いたしました。国内半導体産業低迷の影響は大きく、前年同期に比べ当分野の売上高は減少いたしました。収益性の面では、設備リース料の削減等コスト低減活動の継続により一定の収益を確保しております。

その結果、当セグメントの外部顧客への売上高は、1,726百万円（前年同期比11.4%減）、営業損失96百万円（前年同期営業損失385百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

水処理製品分野では、政府の成長戦略の影響により公共事業への投資が増加傾向に転ずる等、市場は緩やかな回復傾向にあります。このなかで、当期首に実施した当社環境・水処理関連事業の株式会社アクアプロダクトへの事業統合効果を最大限に発揮すべく、学校向けや、スポーツジムなどの民間向けプール本体及び濾過装置と、工業用クロフタ排水処理装置の受注活動を積極的に展開するとともに、販路の拡大、新製品の開発活動に注力いたしました。

その他の分野では、震災からの港湾復旧や放射性廃棄物保管容器に使用される高比重コンクリート「Gコン」や車輛連結器・絶縁継手といったユニークな製品の受注活動を積極的に行いました。

また、当セグメントに属する子会社株式会社アクアプロダクトについて、グループ経営の効率化を目的に、当第2四半期連結会計期間より決算日を3月31日から11月30日に変更いたしました。この決算日変更にとまなない、当セグメントの第2四半期連結業績は、株式会社アクアプロダクトの平成24年9月30日仮決算日の翌日から平成25年5月31日までの8ヶ月間を連結しております。なお、当変更により当セグメントの売上高が190百万円増加し、営業利益が8百万円減少しております。

その結果、当セグメントの外部顧客への売上高は決算日変更の影響とプール工事を中心に売上高が増加したことにより、1,079百万円（前年同期比32.0%増）、営業利益は68百万円（前年同期営業損失19百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、旧大阪営業所跡地の再開発が完了し、平成25年3月より賃貸マンションとして事業を開始いたしました。また、前第3四半期連結会計期間に開業いたしました東京都世田谷区の賃貸事業用ビルの収益が当第2四半期連結累計期間で寄与し、売上高および営業利益が前年同期に比べて増加いたしました。

その結果、当セグメントの外部顧客への売上高は482百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は312百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ446百万円増加し、13,938百万円となりました。これは主として、仕掛品が181百万円、原材料及び貯蔵品が150百万円、その他の資産が181百万円それぞれ増加し、現金及び預金が127百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,555百万円増加し、17,176百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が604百万円、機械装置及び運搬具が679百万円、投資有価証券が301百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,001百万円増加し、31,114百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ583百万円増加し、10,878百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が370百万円、短期借入金が1,157百万円、1年内返済予定の長期借入金が420百万円それぞれ増加し、前連結会計年度末に計上した希望退職関連費用等の支払いにより未払金が1,285百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ569百万円減少し、7,209百万円となりました。これは主として、長期借入金が629百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、18,087百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,987百万円増加し、13,026百万円となりました。これは主として、利益剰余金が455百万円(四半期純利益521百万円、剰余金の配当66百万円)、その他有価証券評価差額金が217百万円、為替換算調整勘定が1,272百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ129百万円減少し、2,430百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益760百万円と減価償却費691百万円がありましたが、主に希望退職関連費用に係る未払金1,265百万円の支払いなどにより231百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ523百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出570百万円などにより659百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ264百万円の支出減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増1,157百万円、長期借入れによる収入513百万円、長期借入金の返済による支出926百万円などにより611百万円の収入(前第2四半期連結累計期間に比べ250百万円の収入減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の連結業績予想につきましては、平成25年1月11日公表の業績予想から変更しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「平成25年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565,978	2,438,285
受取手形及び売掛金	5,838,737	5,962,617
商品及び製品	3,095,043	3,041,940
仕掛品	670,029	851,954
原材料及び貯蔵品	1,023,212	1,173,581
その他	375,902	557,837
貸倒引当金	△76,601	△87,756
流動資産合計	13,492,303	13,938,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,712,773	5,317,005
機械装置及び運搬具(純額)	2,845,627	3,524,779
土地	3,581,307	3,666,179
その他(純額)	721,249	369,252
有形固定資産合計	11,860,958	12,877,216
無形固定資産		
のれん	866,617	907,308
その他	95,018	113,951
無形固定資産合計	961,636	1,021,259
投資その他の資産		
投資有価証券	1,573,252	1,874,852
リース投資資産	519,966	510,609
その他	716,147	900,638
貸倒引当金	△11,386	△8,550
投資その他の資産合計	2,797,980	3,277,550
固定資産合計	15,620,575	17,176,026
資産合計	29,112,878	31,114,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,678,604	3,048,899
短期借入金	1,898,569	3,056,077
1年内返済予定の長期借入金	2,607,362	3,028,262
未払金	1,669,743	384,698
未払法人税等	25,861	97,560
賞与引当金	54,206	61,186
役員賞与引当金	11,420	3,990
その他	1,349,740	1,197,894
流動負債合計	10,295,509	10,878,571
固定負債		
長期借入金	4,018,639	3,389,125
退職給付引当金	397,666	448,588
役員退職慰労引当金	303,613	315,288
長期預り敷金保証金	1,955,426	1,873,158
資産除去債務	108,492	108,640
その他	994,635	1,074,380
固定負債合計	7,778,474	7,209,183
負債合計	18,073,983	18,087,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	7,661,077	8,116,365
自己株式	△28,062	△28,062
株主資本合計	12,230,920	12,686,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△172,553	45,137
為替換算調整勘定	△1,196,824	75,854
その他の包括利益累計額合計	△1,369,377	120,991
少数株主持分	177,351	219,531
純資産合計	11,038,894	13,026,732
負債純資産合計	29,112,878	31,114,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	10,956,762	11,294,062
売上原価	7,567,005	7,456,989
売上総利益	3,389,757	3,837,072
販売費及び一般管理費	3,518,560	3,391,206
営業利益又は営業損失(△)	△128,802	445,866
営業外収益		
受取利息	2,520	792
受取配当金	10,066	10,808
為替差益	—	254,994
持分法による投資利益	59,887	87,703
その他	103,569	76,567
営業外収益合計	176,043	430,865
営業外費用		
支払利息	74,952	75,010
その他	53,182	41,586
営業外費用合計	128,134	116,596
経常利益又は経常損失(△)	△80,893	760,134
特別利益		
固定資産売却益	80,609	—
特別利益合計	80,609	—
特別損失		
投資有価証券評価損	76,838	—
減損損失	381,037	—
特別損失合計	457,875	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△458,160	760,134
法人税等	58,159	235,072
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△516,319	525,062
少数株主利益	2,332	3,376
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△518,652	521,685

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△516,319	525,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,051	217,690
為替換算調整勘定	447,215	1,230,297
持分法適用会社に対する持分相当額	32,738	81,184
その他の包括利益合計	424,902	1,529,172
四半期包括利益	△91,417	2,054,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,760	2,012,054
少数株主に係る四半期包括利益	10,342	42,180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△458,160	760,134
減価償却費	694,298	691,255
減損損失	381,037	—
のれん償却額	32,323	40,020
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49,461	50,922
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36,052	11,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24,070	8,319
受取利息及び受取配当金	△12,586	△11,600
支払利息	74,952	75,010
持分法による投資損益(△は益)	△59,887	△87,703
固定資産売却損益(△は益)	△82,999	△432
売上債権の増減額(△は増加)	△20,385	△123,879
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,663	△279,191
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	△113,451
仕入債務の増減額(△は減少)	251,989	297,970
未払消費税等の増減額(△は減少)	△92,648	57,847
希望退職関連費用に係る未払金の増減額(△は減少)	—	△1,265,896
その他	△276,474	△232,998
小計	453,275	△121,998
利息及び配当金の受取額	12,719	11,622
利息の支払額	△70,001	△63,894
法人税等の支払額	△118,508	△74,458
法人税等の還付額	14,766	17,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,251	△231,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△992,014	△570,228
無形固定資産の取得による支出	△8,899	△23,185
長期預り敷金保証金の返還による支出	△79,132	△82,267
長期預り敷金保証金の受入による収入	130,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△41,008	—
その他	66,843	16,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924,211	△659,337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,436,499	1,157,508
長期借入れによる収入	3,417,923	513,328
長期借入金の返済による支出	△1,012,320	△926,324
自己株式の取得による支出	△68	—
配当金の支払額	△66,397	△66,396
その他	△40,119	△66,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	862,518	611,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	93,549	148,970
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	324,107	△129,491
現金及び現金同等物の期首残高	2,835,522	2,559,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,159,629	2,430,298

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,760,220	1,949,720	817,622	429,198	10,956,762	—	10,956,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	394	180	777	—	1,351	△1,351	—
計	7,760,614	1,949,900	818,399	429,198	10,958,114	△1,351	10,956,762
セグメント利益 又は損失(△)	596,634	△385,071	△19,058	274,129	466,633	△595,436	△128,802

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△595,436千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「電子部材・マスク事業」セグメントにおいて、タッチパネル用部材製造設備の将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において381,037千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,005,805	1,726,589	1,079,056	482,610	11,294,062	—	11,294,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,226	60	253	—	7,539	△7,539	—
計	8,013,031	1,726,649	1,079,309	482,610	11,301,601	△7,539	11,294,062
セグメント利益 又は損失(△)	771,775	△96,530	68,472	312,777	1,056,494	△610,628	445,866

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△610,628千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。